

## ① 十勝開墾株式会社(十勝開墾合資会社)農場畜舎



建設当時の畜舎(ビート資料館提供)

近代日本経済の父といわれる渋沢栄一らが1898年(明治31年)に設立した十勝開墾合資会社(後の十勝開墾株式会社)が、札幌農学校(現在の北海道大学)に依頼し1919年(大正8年)に建築した、当時としては理想的な畜舎。現在も1階は畜舎、2階は飼料庫として使用されています。

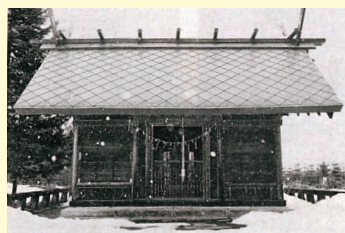
## ② 青淵山寿光寺



建築当時の寿光寺(昭和初期頃)

1918年(大正7年)富山県の僧、増山白渚を招き熊牛説教所として開基し、その後、十勝開墾株式会社から敷地や材料費、また渋沢栄一らより寄付を得て工事が始まり、1929年(昭和4年)に寺院が落成しました。渋沢の雅号「青淵」を山号に戴いており、渋沢直筆の扁額が掲げられています。

## ③ 大勝神社



改修前の拝殿(平成19年)

1911年(明治44年)十勝開墾合資会社が敷地や工費を投じ本殿を造営、翌1912年(大正元年)に拝殿を造営し、新元号大正の「大」と十勝の「勝」から大勝神社と名づけられました。札幌神社(現北海道神宮)から大国魂神ほか2神の分霊を請い、祭神としています。

2012年(平成24年)創祀百年を記念し、改修されました。

## ④ ドイツ人模範農家 コッホの住宅

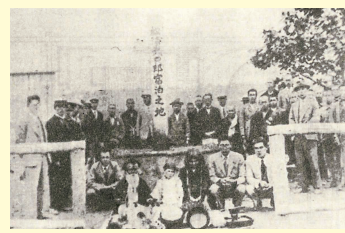


改築前のコッホの住宅(昭和38年)

1923年(大正12年)に道庁の招聘で、ドイツよりフリードリッヒ・コッホが妻と4人の子どもをつれて居住し、7年間にわたり甜菜栽培の研究や輪作体系の技術指導を行いました。

住宅は木造2階建てのドイツ風建築で、1974年(昭和49年)に改築され、現在も使用されています。

## ⑤ 松浦武四郎 宿泊の地



最初の史跡標建設(昭和12年)

徳川幕府箱館奉行所御雇となった探検家松浦武四郎が1858年(安政5年)十勝内陸の調査のため、石狩から山越えし十勝川に沿ってニトマフ(現在の清水町字人舞)にたどり着いた際、アイヌ人のアラユクが歓迎して泊めた場所です。

## ⑥ 駅通跡(清水町発祥の地)



当時の駅通の絵図(町史より)

石狩道路開通の翌年、1899年(明治32年)に官設ペケレベツ駅通が設置され、村山和一郎が取扱人となりました。官馬7頭、私馬7頭を蓄え、旅館と人馬継立及び郵便物中継の重要な役割を務めていましたが、1907年(明治40年)の中央鉄道の開通を機に、同年に廃止されました。

駅通跡を清水町発祥の地とし、町体育館前に記念碑が建立されています。

## 清水町の歴史

| 年号 | 年  | 西暦   | 出来事                                          |
|----|----|------|----------------------------------------------|
| 安政 | 5  | 1858 | 松浦武四郎、ニトマフ宿泊                                 |
|    | 30 | 1897 | 渋沢栄一ら3,500万坪の貸付予定存置出願                        |
|    | 31 | 1898 | 十勝開墾合資会社設立 26戸99人入植                          |
|    | 32 | 1899 | 石狩道路開通(帯広～旭川間)                               |
| 明治 | 34 | 1899 | 官設ペケレベツ駅通開設                                  |
|    | 34 | 1901 | ペケレベツ駅通を清水駅通と改称(清水の語源)                       |
|    | 36 | 1903 | 人舞村外一カ村(屈足村)戸長役場開設                           |
|    | 40 | 1907 | 中央鉄道「十勝線」開通 清水駅・佐念頃駅開業<br>清水駅通廃止             |
|    | 41 | 1908 | 渋沢栄一が農場視察に来村(現清水町)                           |
|    | 元  | 1912 | 大勝神社が創建                                      |
|    | 4  | 1915 | 二級村制人舞村が発足                                   |
| 大正 | 8  | 1919 | 十勝開墾株式会社農場に畜舎建設<br>二級町村制御影村が発足               |
|    | 10 | 1921 | 旧日本甜菜製糖株式会社清水工場開設及び<br>鉄道(後の河西鉄道)による甜菜の運搬を開始 |
|    | 12 | 1923 | 人舞村が一級町村制を施行<br>明治製糖株式会社社有地にドイツ人農家 コッホ居住     |
|    | 13 | 1924 | 十勝開墾株式会社が明治製糖株式会社に経営移譲                       |
|    | 14 | 1925 | 河西鉄道(株)が旅客営業運転開始                             |
|    | 2  | 1927 | 人舞村を清水村と改称                                   |
|    | 4  | 1929 | 青淵山寿光寺 落成                                    |
| 昭和 | 11 | 1936 | 清水村が町制を施行 清水町となる                             |
|    | 31 | 1956 | 御影村が清水町に編入                                   |
|    | 40 | 1965 | 日勝道路(国道274号線)開通                              |
|    | 57 | 1982 | 清水町役場新庁舎完成                                   |
| 平成 | 14 | 2002 | 開町100年記念式典開催                                 |
|    | 23 | 2011 | 道東自動車道(十勝清水～札幌)全線開通                          |

# 北海道清水町 文化史跡紹介 パンフレット



作製／清水町教育委員会 監修／十勝清水郷土史研究会  
所在地／北海道上川郡清水町南3条3丁目1番地 清水町文化センター内  
電話／0156-62-5115 FAX／0156-62-6333  
Eメール／skyoiku@town.shimizu.hokkaido.jp

**青淵山寿光寺** 清水町字熊牛64番地



**十勝開墾株式会社  
(十勝開墾合資会社) 農場畜舎**  
清水町字熊牛11番地



**大勝神社** 清水町字熊牛63番地



至 御影

**お願い 各史跡の見学について**

①十勝開墾株式会社、②青淵山寿光寺、  
④コッホの住宅、⑤松浦武四郎 宿泊の地  
の4箇所については、私有地になりますので、  
見学には各所有者の許可が必要です。  
詳しくは清水町教育委員会までお問合せ下さい

**駅通跡(清水町発祥の地)**  
清水町字清水第4線57番地



**ドイツ人模範農家コッホの住宅**  
清水町字下佐幌基線70番地

